

目標達成計画

作成日: 平成 27 年 10 月 25 日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	4	運営推進会議の参加者が一部のご家族・関係者に偏っており、より多くの関係者・地域の方に参加して頂く必要がある。それにより、より地域に理解を深めてもらうと共に、サービス向上に繋げたい。	より多くのご家族、地域の方に参加して頂き、入居者さんが地域の中でどのように過ごされているか理解してもらう。 また、活動を知ってもらうことで、ご家族・地域の方を巻き込んだ活動に繋げていきたい。	・会議の議題内容を、ご家族・地域の方が興味を示せるものにする。 ・運営推進会議自体が、どのような目的で行われているのか、詳細を伝えていく。 ・地域の見守り隊として役割を担う、小学校や幼稚園の運動会などに参加し、施設の存在、職員・入居者の顔を知ってもらうところから繋がりを作っていく。	12ヶ月
2	27	ケアプランを元に援助を行っているが、介護記録がケアプランと連動しているか比較が難しいため、改善を要する。	よりケアプランを意識し、チームとして統一したケアが実施できるよう、介護記録の書式の見直しを行う。	・ケアプランのどの項目に対して行ったケアなのか、記録とプランが連動できるよう、ケアプランを見ながら、プラン番号を表記した上で記録作業を行う ・職員全員がケアプラン作成・変更時に意見を出し合い、皆が認識を持った上でケアにあたる。	6ヶ月
3	6 7 18	距離感の近さ、閉鎖的な空間などにより、入居者さんと職員の関係が逆転しないように、日々意識していく必要がある。 (言葉遣い、入室・介助時の声かけなど)	人生の先輩であること、尊敬すべき存在であることを常に忘れず、援助に当たる。 職員間で指摘、向上できるチーム作りを目指す。	・日々チームとして、振り返りが行える環境作り(言葉遣い、援助で間違ったことがあれば指摘しあう) ・接遇マナーの習得・実施。	6ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。